

ライフポート将棋スクール受講生への注意事項

1. 「礼節」を識る

将棋を学ぶうえで、一番大切なことは「礼節」です。「礼節」とは、将棋を敬い、自分と同じように相手を認め、敬うことです。

対局を始めるときは、きちんと正座し(椅子の場合はきちんと背筋を伸ばし)「よろしくおねがいします」と元気がよくあいさつしましょう。対局中でもできるだけ正座を心がけましょう。どうしても足がしびれた場合は「失礼します」と相手に断ってから正座をくずしましょう。残念ながら負けた場合は「負けました」とはっきり、あいさつしましょう。悔しいからといって、「負けました」といえないようではいけません。対局が終わったら、おたがいに「ありがとうございました」と感謝しましょう。

2. 「自分で考え、決定し、着手すること」

将棋の指し手は自分で考えましょう。対局中は誰も教えてくれません。苦しくても自分で考える事が大切です。そして、なぜその手を選び、着手するのか?をもう一度確認してから指しましょう。将棋ではうっかりミス、自分勝手な読み筋は敗局につながります。

基本は「3手の読み」です。「自分が指す」～「相手がそれに応じて指す」～「相手の指し手への対策を用意しておく」この「3手の読み」ができれば立派な有段者です。

3. 「自分の指し手に責任を持つ」

将棋には幸運も不運もありません。偶然もありません。また、TV ゲームのようなりセットボタンもありません。やり直しも「待った」もできません。全て自己責任です。勝っても負けても、自分の指し手に責任をもち、最後まで「礼節」をもって、全力を尽くしましょう。